



とよおか

第 41 号

平成20年 7 月30日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷㈱



七夕様(星祭) 里芋の夜露を集めて磨った墨で、五色の短冊に願いをこめて。(中央保育所)

6 月定例会

6月定例会のようす	2～3
予算特別委員会の質疑から	4～5
一般質問のようす	6～11
北部ブロック研修視察	11
委員会だより	12～13
「私の一言」／私がんばっています／編集後記	14



この議会だよりは、再生紙を使用しています



完成間近の山田賃貸住宅団地

第2回 定例会

- ・ 環境保全条例案、条文に不備
- ・ 国保税平均5.5%の増額に

第二回定例会は、六月四日から六月二十三日までの二十日間の会期で行われた。

上程された議案は、専決処分に対する承認七件、人事同意案一件、条例改正案二件、条例制定案一件、補正予算案八件、報告二件、請願陳情五件で、各委員会等での審査・審議を経て、開会日及び再会日（四日・十九日）の本会議に於いて議決された。

条例案としては

異例の継続審議に

— 環境保全条例 —

「豊丘村環境保全条例」は、村の豊かな自然環境の保全及び清らかな水環境の保全等の基本理念を定め、村、事業者及び村民の責務を明らかにするとともに、

循環型社会の構築、地球温暖化対策及び地下水汚染防止対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の村民が、真に、「うるおいの郷」を享受できる良好な環境を確保することを目的に、「環境をよくする条例（昭和四十九年制定）」を廃止し、時代にあつた条例として、新たに制定しようとするものである。

付託を受けた総務産建委員会では、六月十一日に審議、「村民の理解が必要」、「理事者を含め

ての深い議論がなされていない」、

「環境審議会」での議論が先決ではないか」などの意見が出されるなかで、今、世界的にも環境問題が大きく取り上げられている時、よりよい条例とするためにも一層議論を深める必要があるとし、継続審議とすることとした。

又、十九日の本会議では、この委員会報告を受け審議を行い、条文各所での不備など指摘が多く出され、「条例案に対する継続審議は、あり得ないのでは」などの意見もあつたが、採決の結果賛成多数で、委員会報告通り、継続審議とすることとした。

今後、議会としても、環境に関わる重要な議題として、村とともに、条例制定に向け努力していくこととなる。

尚、関連する委員会での審議内容は、後ページの「委員会だより」に記載。

国民健康保険条例を 連合審査・審議

国民健康保険条例の一部改正は、毎年度、定例会開会日(初日)に即決が求められ、「充分な審議時間がとれないのでは」「多くの意見反映がなされないのでは」、などの指摘も出されてきたが、納税通知書送付までの日程的、時間的制約もあり、今年度も開会日即決もやむなしとしたが、新たに総務産建委員会と社会文教委員会との連合審査により、税率を決定するに至った。

審議を深めるため 初の試み

国民健康保険条例の一部改正(税率の改定)については、毎年度村長が、国民健康保険運営協議会に諮問し、その協議にもとづく答申を受けて、議会に提案され、開会日即決が常となっている。

ここ数年は、定例会開会前の議会全員協議会での説明、質疑等に時間をかけてきたが、委員会での審議に時間的余裕もなく、しかも、「税」に関しては総務産建委員会の管轄であり、健康保険の「内容」に大きく関わる社会文教委員会が、条例改正の

審議に加わることは、まれであつた。

そこで、今年度初めて両委員会での連合審査・審議を行った。連合審査・審議は、条例案付託後、総務産建委員会からの申し入れを社会文教委員会が受けて、ただちに行われた。

**税率、
平均五・五%増**

—国民健康保険税—

今年度より後期高齢者医療制度が新たに施行されるなど、医療制度の改革により、国保財政への影響は少なくなかないものと思われる。

今年度の村の国保への影響は前期高齢者(六十五歳から七十

四歳まで)に対する交付金が、制度改正前に比べると約二千万円程度プラスになると見込んでいる。

算定にあたっては、二十二年度を目標に、基金からの繰り入れ、繰り越しなしの単年度収支の均衡をはかることを目指し、総額を決定した。

その結果から計算すると、十九年度に比べ平均で、五・五%の税率アップとなる。

今後は、医療費の増大等により、年毎増税が見込まれることから、各々が定期的に検診を受

けたり、身体を適度に動かしたりするとともに、各種保健指導を素直に受け止め、リズムある生活習慣の遂行をすることにより、医療費の抑制と健康の維持をはからなければならぬ。

補正予算 上・下水道の 先行投資を議決

・簡易水道事業
上水道事業
事業費二千四百十万円(まちづくり交付金四割、建設改良

費六割をもって行う。)・特定環境保全公共下水道事業
基幹、提案事業
事業費六千四百万円(まちづくり交付金四割、起債対象六割をもって行う。)これらの事業は、林里十王坂線と伴野工業団地先線、伴野新田一号线など伴野地区の今後工場進出や宅地化が進むと思われる地域に先行的に投資をしようとするもので、今年度内完成を目指す。

請願・陳情

◎「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願
—採 択—

◎30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願
—採 択—

◎長野県独自の30人規模学級の小・中全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願
—採 択—

◎森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める請願
—採 択—

◎「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のまちづくり宣言」採択に関わる陳情
—継続審議—

伴う公共交通対策は

平成二十年度、予算特別委員会が十六日に行われました。環境衛生費の関連や特定検診などについて審議されました。

山田地域の通園・通学 バス現段階では難しい

片桐(秀)議員 地域公共交通検討委員会会議費があるがこれは村の交通問題の関連なのか。

総務課長 いま村で運行している村営バスについては二年ごとに長野陸運局に申請しなければならぬ、この会議で今後さらに継続するか否かを検討してもらうためのもの。

話題になっている信南交通の路線廃止にもなう全体の公共交通については九月補正で検討していただきたい。

片桐(秀)議員 以前から問題になっている山田の地域への通園、通学バスの対応についてはどうなっているのか。

総務課長 今年の一月から三月にかけて地元との協議を行ってきた。山田を回すにしても長沢経由になる、経費的に新たに増便というわけには行かない。やるにしても低学年とか限定される。

地元では別に出して欲しいとの

意向もある。地元と保護者の主張も食い違いがあるので一本化するのには無理がある。

唐澤議員 人間ドッグ助成金について説明を。

総務課長 今年から特定検診をやらなければならぬことになり、役場の職員については長野県市町村共済で行う。その分の予算です。

唐澤議員 単価や負担は。

総務課長 日帰りが今四万四千円、そのうち共済組合がもつのが二万七千円で特定検診は六千円、残りが個人負担になる。そのうち半分が公費の負担となる。

唐澤議員 一般村民の健康や検診についてはどう考えているか。

村長 必要と思う。状況については十分承知していないので今後検討していきたい。

住民課長 人間ドッグ以外は集団ヘルスを受けて頂きたい。

野田の平キャンプ場で 元気づくり支援金を 受けてイベント企画

川野議員 元気づくり支援金について説明を。

総務課長 これは県の元気づくり支援金を受けて、村での「四季の里山づくりイベント」を行う、それぞれ豊丘の独自性を出しイベントを行う。いま決まっているのは七月末の野田の平のキャンプ場を利用した外からの来客を期待した取り組みを行う。秋には豊丘祭りに合わせお神輿の競演などどうかと考えている。

**古紙・古布の回収
時のサポートを
シルバーに委託**
川野議員 衛生費委託料について補正になっているが説明を。

北保育園

夏休みにかけて工事

前沢議員 保育所設計委託料は北保育園のもので傷みも激しくなっているようだが状況などは。

保育所長 建設から二十年たっており問題は無いが、ただシロアリに喰われおり、床は見たが壁が見てないので発注後工事やりながら状況を見て修理していかざるを得ない。

前沢議員 夏に工事は行うのか。

保育所長 夏休みは一週間程度しかない、休みの期間をかけたつ通常の日も遣いやらなければ出来ない。

丸岡議員 他課の職員をサポートに充てていたとのことだがこの課か。

環境課長 今までは環境課と建設課が一緒だったが、今回は別の課になったので。

丸岡議員 経費削減となる根拠の調査はしてあるのか。

副村長 超過勤務手当を年間通じて計算した結果の判断。

片桐(秀)議員 一般質問にも出されたが、徳島県の上勝町の様に常設のゴミ集積場は、地域のモラルが上がらないと出来ないとの答弁だが、こういうことをやることによってモラルを上げて行くものだ。安易な答弁でな

予算特別委員会の質疑より

路線バス廃止に

くそのところをよく検討して欲しい。管理も障がい者にもできるし、就労の機会も与えて欲しい。

村長 私もドイツに行ったときごみ収集は徹底していた。その裏には行政が相当経費を出費していた。今の状況だと現在は村民のみなさんの協力を得なければならぬ。

地域防災対応の マニュアル版の 配布を考える

片桐(義)議員 消防費機械購入費については何か。

総務課長 宝くじ助成金をいただいて行う事業。内容は各区より申請のある非常用の照明器具やガス釜を、要望によって整備していく。防災対策の一環。

松村議員 豪雨災害、監視システムにも活用可能か。

総務課長 監視システムによって判断できる様にしてある。

松村議員 このところ災害は無い、いざと言う時すばやく対応できるよう、組織の引き締めを。

前沢議員 地域防災計画についてはどうなっているか。いつ出されるのか。

総務課長 いま詰めているところで時期的にははつきり明示で

きない。

前沢議員 簡単なマニュアルを各戸に配布をして欲しい。

総務課長 ダイジェスト版を配布するつもり。

川野議員 教育委員会の校用入夫賃金はどのようなものか。

教育委員会事務局長 中国帰国者の子どもさんに対して通訳を一定期間つけるもの。

松村議員 町村共済組合の増額補正があるが説明を。

総務課長 町村の負担金の確定によるものです。

不法投棄対策で 滝川地区の「発起」 へ防護ネット

菅沼議員 環境衛生費で滝川地区防護ネットとあるが、場所や規模は。

環境課長 滝川地区の「発起」というところで、長さ二十メートル、高さ二メートルのもので不法投棄の対策です。

片桐(真)議員 地区の育成費が増えている、会員が伸びている地域があるのか。

住民課長 青少年育成会については全体で会員が増えておりその分負担金が増えている。

荒廃農地に 牛の放牧

牛の放牧

川野議員 農業振興費委託料について説明を。

産建課長 これは下草刈り事業に取り組むもので、農家から牛を借りて電柵と牛の移動費です。

菅沼議員 関連するもので和牛の里作りに関するものだが詳細は。

産建課長 いま候補地を上げていくところ、堀越で一箇所、山田で一箇所、佐原で一箇所、福島で一箇所、地権者の理解は得た



休耕田を利用するの放牧(佐原地区)

が水の問題や周囲の同意も必要である。飼育頭数は二頭。電柵で囲って行う。作業はボランティアや農業委員会にお願いする。

県の事業。

壬生議員 ボランティアもつかう様だがそれで長続きするのか。

産建課長 農業委員会からの提案でもある。地域に場所の了解を得るときにそのことも聞いている。

村長 この問題についてはその問題が最大の課題である、農業委員会にもそのことは言っている。

しつもん



質 限界集落化防止対策は 答 なかなか難しい課題

片 桐 秀 人

質問 私の近くに写真で見て頂いたような廃屋が数軒ある。これは農山村の風景や環境を悪化させている。かつては道や水道、有線や浄化槽など公費を投じている。村としては個人の所有物であり、村として何の権利も拘束力もあるわけではないが、村として何らかの対策を考える気持ちはないか。

村長 行政で援助する方法はないか、内部でも検討していく。

質問 一昨年「空き屋情報活用制度」を作ったがその結果は。

村長 空き屋物件の登録は十件、その内四件が成立した。入居希望者は十四人であった。

質問 今年空き屋改修費を二五〇万円計上したが、一戸五〇万円では少ないと思う。増額していく気持ちはないか。

村長 当面今の限度額でいきたいと考えている。

質問 広域農道から上でも眺望がよく宅地にしたいとの地元からの希望があった場合、費用を投入するつもりはあるか。

村長 その方法、手順だと思いが、造成する前に入居者が決まるならば宅地造成できる

のではないかと考える。

質問 広域農道から上の人口減少が顕著だが、歯止めをかける必要があると考えるか、ないと考えるか。

村長 行政でそこに住んでおつてほしいとか、居てほしいとは言えない。日々の生活、通勤、子供の友達関係など現実的には難しいと心配している。

意見 限界集落になる前に行政施策が重要と思われる。今、対策を構ずるべき時だ。



最近目立つようになった廃屋

議会活動報告

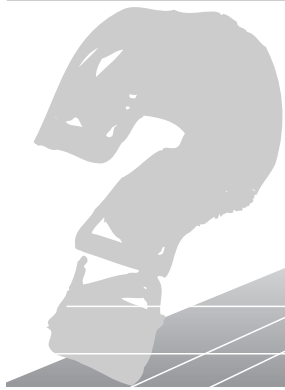
四月～六月

◎四月

- 三日 入園式
- 四日 南北小学校入学式
- 中学校入学式
- 社会文教委員会
- 十五日 社会文教委員会
- 十六日 広域連合議会（議長）
- 十七日 議会だより編集委員会
- 二十一日 北部ブロック正副議長・事務局長会議
- 三十日 全員協議会

◎五月

- 二日 広域連合議会（議長）
- 十四日 社会文教委員会
- 十五日～十六日 北部ブロック正副議長・事務局長視察研修
- 十九日 総務産建委員会
- 二十日～二十一日 全国町村議会
- 正副議長研修会（東京）
- 二十二日 広域連合議会（議長）
- 二十六日 下伊那郡町村議長会
- 二十五日 松くい虫対策協議会
- 二十八日 議会運営委員会
- 全員協議会



いっぱん

質 火葬場建設について

答 秋までには設置箇所を選定を

川 野 孝 子

質問 今年度のセミナーハウスの管理委託については、今までの方にはお願いしないという通告をされたと聞くが、相手方と現在どのような状況であるか。

村長 相手方と連絡の取れない状況が続いている。立ち退きについてはこちらから誠意を持って解決したい。しかし、その思いも限界にきており早急に具体的な行動を起こしていかなくてはならないと考える。

火葬場建設について

質問 北部五ヶ町村で共同で取り組む事業として、火葬場の設置をという声が具体的になってきている。五月二十九日に「火葬場設置のための研究会」が発足したと聞く。この研究会は最高の意志決定機関ということですが、今年秋頃までには設置箇所を選定を行うていくというがどうか。



適正な管理が望まれるセミナーハウス

村長 五ヶ町村の皆さんの使いやすい利便性、又経済性等を考慮し、いくつかの候補地の中から最適地を選定し、その最適地が決まった後にそれぞれの議会、地域の皆さんにお願いをしていきたい。
意見 野田平キャンプ場の管理は指定管理者である「だいち」が行っている。その委託先は、昨年苦情や問題点が指摘された者であり、現在問題となっているセミナーハウスの管理者であった者である。村内の施設でこうした状況が起きたことは理解しがたい。行政の十分な指導を願いたい。

◎六月

二日 長野県町村議会議員研修会(松本)

四日 第二回定例会 開会
全員協議会

五日～六日 松くい虫空中散布

七日 議会だより編集委員会

十日 社会文教委員会

十一日 総務産建委員会

十三日 一般質問

十六日 予算特別委員会
全員協議会

十九日 議会運営委員会
予算特別委員会

第二回定例会 再開
全員協議会

二十六日 広域連合議会(副議長)



友だちいっぱい!! 子育てサークル「この指とまれ」

質 環境負荷の少ないエネルギー施策を

答 日向山堰提発電利用の可能性を模索

片 桐 義 憲

質問 村環境保全条例制定下における非化石燃料の有効利活用について、村は環境保全条例の制定に向け取り組みがされている。環境への負荷を極力抑さえ、村民生活が脅かされる事が無い様な施策の展開を望む。家庭や、各事業所、又食品トレーやレジ袋等家庭からの間接的な温室効果ガスの抑制の取り組みは勿論であるが、実情に合わせたポテンシャルの大きい再生可能エネルギーの導入、開発施策を積極的に進めるべきと考えるが見解は。

進める上で、参考として行きたい。質問 村道の舗装劣化が進んでいる。極所の補修と平行し、大規模張り替えが必要な道路がある。年次計画で進める考えは。又林原公園周囲の除伐が必要。村長 まちづくり交付金で、佐原線については取り組む。又公園については、地権者の理解を願い、ロケーションの良い段丘をPRする為にも前向きに取り組む。

村長 今議会に提案している条例の内容については、御意見が色々あることを認識し、再検討する。農業振興と合わせ、土に帰る身近な原料を使い環境に優しい地域作りを進める工夫をしていく。又バイオの研究も広域連合でも進める。中央保育所、スポーツ館二ヶ所にパネルを設置し、太陽光発電のPRをしている。売電単価を上げる様な働きかけと合わせ、日向山堰提による水力発電の可能性を考えていきたい。



普及されにくい太陽光発電システム(現)村内42基設置

質 今後の地域づくり事業対策は

答 地域活性のために積極的活用を

原 健 治

質問 地域づくり事業で十八年度七地区、十九年度三地区一団地で、休耕田の活用、道路沿いの美化、公園への野獣侵入対策景観美化する取り組みがされ、地域活性化の原動力として活用されている。今後の考え方は。

村長 地域づくりやコミュニティ推進を図る上で地域活性化と協働の村づくりを実現するために自主的な活動を支援するので、積極的に活用願いたい。

J Aからの申し入れ
秋を目度結論を出す

質問 先日、J Aから庁舎内の一部を借用したい旨の申し入れに対して十分慎重審議をして返事をされたい。

村長 村としては判断はしていない。今までいくつかのJ A施設をお借りしている経緯もある。役場とJ Aの用事を済ますことが可能等考えられるが、議員、職員、村民の皆さんに意見を聞き秋までには結論を出したい。

吸引式柿皮むき機導入に
元気農業支援金の利用!

質問 村内の五割を越える家庭で加工



廃止されようとする柿むき機

作業がされている市田柿が加工食品として位置付けされ、皮剥き前の殺菌消毒、吸引式機械での皮剥き作業に急に变革されてきた。殺菌消毒液と吸引式機械導入をするための補助はできないものか。

村長 現状では個人資産の購入に対しての補助は行っていないので、グループ、組織等で元気農業支援金の利用をいただきたい。

質 いつでも出せるゴミステーション設置は
答 マナーの徹底がないと難しい

片 桐 眞 理 子

質問 元気なうちに思いや生活歴を冊子につづって介護状態になった時に役立つという取り組みについての考えは。

村長 年に一回はケースワーカーが訪問し介護状態になった時の希望を確認し、働きかけている。さらに進めていく必要もあるのかも思う。

ホームヘルパー三級で

福祉の 村づくりを

質問 家庭介護者を対象としたヘルパー

三級の受講で地域福祉を支えるマンパワリーの確立をする取り組みについてどう考えるか。茨城県の美野里町では中学生も含めてこの運動をすすめていると聞くが。

住民課長 三級ヘルパーを取り組む考えはないが、十一月から社協で家庭介護教室を実施する。

肺炎ワクチン接種の

一部助成について

質問 肺炎を起こすと重症化しやすく、

ワクチンの接種は大事である。生涯一回で効果は五年以上持続するというがどうか。

村長 新型インフルエンザの方に力点を置きたいが、検討を深めていきたい。

ゴミ問題について

質問 決められた日以外に出せるゴミステーションについての考え、ゴミ問題についての課題について伺う。

村長 定着してきたビン、ペットボトル類に業者が立ち会わない収集を試みている。ポイ捨てや分別状況をみると、ゴミステーションの設置は、監視員がいなければ難しい。



上勝町のゴミステーション

質 子育て支援は多面的に
答 就学援助基準は検討する

前 沢 光 昭

質問 貧困と格差の広がりには深刻で、非正規雇用やワーキングプアなどの増加で低収入による生活困難者の増加はこの豊丘も例外ではない。

今年度重点事業のひとつに子育て支援の充実がある。その中で就学援助の枠の拡大がされたが今年度の状況はどうか。枠を拡大しても基準を見直さないと受ける人は増えないかどうか。また全国的に給食費の未納が増えているが豊丘ではどうか。本人に代わって学校が直接就学援助を受け取る代理受領は進んでいるか。

村長 十九年度給食費未納は二世帯で払えるのに払わないと思われる、督促にも応じないということは聞いている。十八年度はない。

教育長 就学援助は十七年度小学校十三名、中学校十二名十八年度小学校十三名、中学校十三名十九年度小学校十五名、中学校九名。就学援助の基準見直しは教育委員、民生委員のみならずと相談しながら検討をしたい。

高校再編について

質問 この地域の高校再編については、地域や高校関係者を含む



楽しい給食の時間 (北保育所)

めた機関が出来議論が進められている。この地域の職業高校をどうしていくのかなど広域連合会議での現在の状況、村長の考えは。

村長 現在の段階は第一段階であり。飯田工業と長姫高校を統合して、この地域のもの作りの拠点校とすることなど、当地域と合意を前提に進めている。現在の広域会議での話の現状はここまでの段階である。

質 下水道使用料条例の改正を

答 内部検討し、九月議会で相談を

唐 澤 啓 六

質問 豊丘村の下水道使用料の徴収体
型は、世帯割と人員割による「定額制」
である。「世帯割」の基準は、住民基本
台帳上の世帯区分によって賦課されて
いるが、台帳上は二世帯であつても
（介護保険や障害者自立支援法上、生活
防衛上止むを得ず世帯分離をしている
ケース）公共樹は一箇所であり、一世
帯と同等に扱うべきケースでも二世帯
分賦課されている。本村と同じ「定額
制」をとっている町村では、このよう
な場合一世帯として取り扱って
いる。早急に改善すべきと考え
るが。

質問 道路特定財源の一般財源化につ
いてのアンケートで村長は「支持しな
い」と解答した。
一般財源化を支持する世論が過半数
となつている中で、「支持しない」と
する見解について説明を求めらる。
村長 道路特定財源は、道路整備の安
定的な財源確保のために創設された制
度である。この地域にとつて交通イン
フラ整備は重要な課題であり、一般財
源化には反対である。

村長 世帯割を賦課するのは、
日常の浄化センターの管理は世
帯人員に関係ない必要であるこ
と等の理由によるものである。
障害者自立支援法等の対策と
して世帯分離しているケースに
ついては、下水道事業で対処す
るが、福祉で措置するのか、内
部で検討していく必要がある。
今後、料金審議会にも諮って
できれば九月議会で相談させて
もらいたい。

道路特定財源の

一般財源化についての見解は



林里の下水道処理場内部

質 村の中心地域の商業ゾーン更生は！

答 平成二十二年度以降活力ある町並みを

菅 沼 敏

質問 豊丘村の小中規模の事
業者数は、平成十六年百六十
八件であつたが同十九年には
九件減少となつている。一方
年間販売額は同年でみると、
四十四億六千五二一万円から
一〇三・三%の伸びである。
しかし乍ら近隣の市町へ大型
店進出により客層は村外に向
けられ、個々の事業者間の販
売額の格差が開くなど厳しい
現状である。此らは高齢化や
後継者不足も手伝い、廃業止
むなしといった事例が何える。
村は商工業振興事業補助金と
して十九年度七〇〇万円、二
十年度六五〇万円を支援して
いる。こうした現況の中で村
の玄関口である中心地の商工業の再生
をどう考えているのか。



商店街の行方は？（道路改良は進む）

村長 豊丘村のメインストリートであ
る田村の新道が道路を拡張する度にお
店が減り、非常に悲しい現実である。
今日の商業形態の中、止むえない現象
かと思う。現在二十二年度完成を目指
して交通安全施設事業が進行中である。
此の完成を期に活力ある町並みが戻つ
て来る事を期待している。

質問 市田柿皮剥き機の購入支援を。

J A みさと管内では四四六台の針穴式
の自動皮剥き機が導入されている。干
柿の針穴へカビ発生クレームの多発か
ら、脱針穴式の機種へ移行方針のもと、
一台約二百万円もする投資は農家にとつ
て大変難しい。産業振興の面から此の
支援が出来ないか。

村長 今迄の農業経営の感覚でなく、
企業的に取り組み、所得の向上を目指
し「元氣農業の支援金」事業の対象と
して取り組みをお勧めしたい。

質 農業従事者減少は危機的状态

答 (農業委員会会長) 遊休農地対策に工夫努力

丸 岡 茂

質問 村の農業従事者(専業又は農業が主)は、二〇〇五年に九六四人。十年間で五六七人減少した。しかも七〇歳以上が約五割、七五歳以上が約三割を占める危機的状态。従来の施策の繰り返しては農業は守れない。

村長 地域営農集団等組織的、共同的な体制が育てばと思う。

質問 唱えられても着手されない。村の実態に合わないのでは。国県が目を向けない六〇歳以上の営農就農支援、



答弁に立つ滝川利秋農業委員会会長

「もう少し働きたい」という労力と余る農地をうまく結合させる仕組みづくり、具体的な研究を。農業委員会は他町村に比し傑出した活動。取組や苦労はいかがが。

農業委員会会長 農地法に基づく申請の慎重審議、委員各々地元での活動の中から声を寄せ合い農業振興を考える「農政協議」や、村広報活用による啓発。遊休農地対策は、農地相談や耕作者の斡旋、又委員会自ら「はやて瓜」や焼酎(新九郎)用イモの栽培等、短期・長期的に取組み。

質問 村の実施計画を含め、当面の施策で必要と思う事は。

農業委員会会長 私見も含むが、農業問題は突き詰めれば農産物価格。一方策として地産地消の村を挙げた取組で活気を。

質問 農地相談の様子やそこから見る村農業、今後の抱負を。

農業委員会会長 大勢来られる。耕作できないという相談が多い。そのスピードが速く、受け手が追いつかない。遊休地増、農業従事者減は農道、用排水路の管理を含め、地域や行政に様々な弊害をもたらす。抱負は、農業をやってよかったですと思っってもらえるお手伝いをする事。

北部ブロック議長会視察研修



着々と進む三遠南信道工事

北部五町村議会議長会の視察研修が、五月十五、十六日に実施され、豊丘から議長・副議長・議会事務局局長が参加しました。

今回の視察研修は、三遠南信自動車道の進捗状況を静岡県引佐の三遠トンネル工事現場視察と、浜松市のフラワーパーク及びグリーンパークの視察研修が中心でした。

静岡までは、喬木の矢筈トンネルから南信濃の和田、難工事が予想されます青崩峠越えをしました。和田からは道幅が極端に狭まり、

また高低さの激しい現状でした。青崩峠地域が完成すれば…との思いを強くいたしました。

引佐地籍では、第二東名と三遠南信自動車道と接続するジャンクションが姿を見せ、急速に工事が進展していました。

三遠トンネル工事現場視察は、全長四五二五メートルで、(国交省で全国四番目の長さ)既に本坑全通し、覆工コンクリート工事中のトンネル内に入坑しての現場視察でした。

三遠トンネルは、そのほぼ中心付近に中央構造線が一・五キロメートルに渡って存在し難工事が求められたとのことです。

視察した現場も、地盤が軟弱なため、通常のトンネル工事では覆工コンクリート工事のみですが、現場では、路面下に厚さ五十七センチのインバートコンクリート工事で補強する工法を採用しているとの説明でした。

引佐から愛知県新城市蓬萊インターチェンジまでは、本年中に完成予定で、この間の全てのトンネル工事の本坑は貫通し付帯工事中、橋梁工事は、橋脚工事も全て完成し、橋梁部分も全部発注済みとなっており、土工部も随所で完成または工事中で、年度内完成に向かって着々と進展している様子を見ることが出来ました。

青崩峠道路区間も着工に向け進展しており三遠南信自動車道の全線開通の現実身を実感させられた今回の視察研修でした。

だより

総務産建委員会

委員長 下平 喜隆

豊丘村環境保全条例は継続審議となる

より良い環境条例の

制定に向けては慎重審議が必要

六月定例議会では、条例制定一件、陳情一件が総務産建委員会へ付託されました。

条例制定案は豊丘村環境保全条例を昭和四十九年に制定した環境をよくする条例を廃止して、新たに制定しようとするものです。

その理由は昭和四十九年頃と現在の環境保全に対する基本理

念（地球温暖化防止対策、循環型社会構築、水質、空気、土壌汚染問題など）が大きく変化している事、また条例の中で触れられている青年団がすでに存在していない事などによるものです。

また村がこの条例制定を急ぐ背景には、不法投棄物、死亡獣畜を含む処理が難しい各種のゴミ

ミ、臭気や煤煙に対する苦情など最近の住民意識が個と公の責任に関して、住民それぞれの認識の差があまりに大きいため、村民に対応する一定の基準を条例化したものと考えられます。

委員会内での議論も具体的な条例そのものに対して、数多くの疑問点、各種批判の発言がそれぞれ委員からありました。

具体的個々の例については紙面の関係上ここでは省きますが、要約すれば、村民に対する義務規定を数多く盛り込んだこの環境保全条例を、実行力ある施策として施行するためには、行政側が一方的に提案するのではなく、広く村民や議会との間でコンセンサスを得ながら、多くの村民参加が得られ、より充実した豊丘村環境保全条例を作り上げていただきたいとの意見でございました。

議を深める中で、より整備された環境保全条例の上程も望みたい旨の結論へ全会一致で至り継続審議と致しました。

本会議場に於ける審議の中では、条例審査という立場、状況、また地方自治の二元性の基本からすれば継続審査ではなく否決することがスジではなからうか、との意見が出されました。本会議は総務産建委員会報告の通り賛成多数で継続と可決致しました。

森林、林業、木材産業施策の積極的な展開を求める請願の審査も付託されました。

陳情者は南信地区森林労連、執行委員長宮澤英明さん、紹介議員は原健治さんです。

地球温暖化が進む中、京都議定書による温室効果ガス削減計画によって森林による二酸化炭素吸収源としての目標値も設定され、林野庁は目標達成のために森林整備を集中的に実施しようとしている。しかし財源、労働力、組織体制の確保など数々の問題が顕在化している。森林は国民共有の財産との観点からも国の施策として積極的な国費投入による森林の再生を計りたいとの陳情です。

全会一致で可決致しました。



50周年記念植樹を行った長沢村有林

村側ではこの条例の第二十一条にある豊丘村環境審議会をまず立ち上げ、この条例や環境問題全般を村民や議会と共に審

社会文教委員会

委員長 唐澤 啓六

委員会

小中全学年の学級定員

引き下げを求める請願を採択

今定例会には、条例一件、請願三件、陳情一件が当委員会に附託されました。

〔条例〕

☆豊丘村福祉医療費給付金条例の改正

今回の改正は、福祉医療費の支給対象としない者の追加として：中国から永住帰国された方々（中国残留邦人等）に係る医療費支給について、この方々の帰国後の自立の支援に関する法律による支援給付が行われているため、福祉医療費給付事業の支給対象外とするものです。

〔請願〕：三件はいづれも教育関係のもので、請願人は豊丘村教職員組合代表の宮下伸治氏で、前沢光昭議員の紹介によるものです。慎重審議の結果、三件とも全会一致で採択しました。

①「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願
義務教育費の国庫負担率が平成十八年度1/2から1/3に引き下げられ、代わりに税源移譲されたが三十九道府県で削減

額が上回り、長野県でも8%の減額となります。又、教材費、旅費、共済費等も国庫負担の対象から外され、一般財源化されてきています。

よって平成二十一年度予算編成にあたって、次の内容の意見書を国会並びに政府へ提出するよう求めるものです。

一、国の責務である教育水準の最低保障を担保するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を1/2に還元すること。

二、国庫負担金から既に除外した教材費、旅費、共済費、退職手当、児童手当などを還元すること。

②三十人学級の早期実現、教職員定数を求める意見書提出に関する請願書

今、学校や子どもをとりまく情勢は、不登校やいじめ等心をいためる事態が進行しています。この解決のためには、少人数学級において一人ひとりの子どもたちと深い信頼関係に基づいた

心の通う合う教育をすることが不可欠です。

よって、平成二十一年度予算編成につき、どの子にもゆきとどいた教育をするために、三十人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書の提出を求めるものです。

③長野県独自の三十人規模学級の小・中全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願書

国の「四十人学級定員」の中で、長野県では平成十四年度より小学校一年生において、学級

編成基準を三十五人に引き下げること三十人規模学級を実施し、平成二十一年度までに小学校全学年の全額県費負担による実施が決定しています。一方、少子化の中で、地域によっては複式学級が増加する状況も生まれています。（本村においては当面心配はない）

よって、中学三年生までの三十人規模学級の実現と、複式学級の解消等を求める意見書を県知事あてに提出してほしいとす



中学校の授業風景

シリーズ「私、がんばっています」

田舎での生活にアコがれていた。特に山と川が好き。豊丘村は私のイメージにピッタシ。JA高森支所に勤務しながら、子育て奮戦中の中部二、代田由紀さんを訪ねました。

「ただいま」と元気な声が聞こえてきました。百花ちゃんは北小一年生。歩花ちゃんは北保育所さくら組、お勤め帰りの由紀さんと伴にお帰ります。お忙



私の一言

私は、北信で育ち下伊那に来て六年目になります。地元は豪雪地帯のため通勤に悩まされることもありました。こちらは暖かくとも住みやすく思っています。現在私は病院の訪問看護師として、また介護支援専門員として地域を廻り、住民の皆様にお世話になっ

訪問先での御礼の言葉が励み

上市場 宮下尚美

ております。豊丘に限りませんが、介護者の皆さんは一生懸命に頑張っている方が多く、訪問時感謝の言葉を言ってお返し、とてもうれしく励みになっていきます。豊丘村の福祉事業には年数回の介護者の日帰り旅行がありますが、良い意見交換の場となり、お互いに励まし合い良いフレッシュになっていくと聞きます。マスクでも報道されていますが、介護者の精神的支援がとても重要であり、素晴らしいことだと思えます。在宅で生活している患者さんの中には、療が自分で出せず吸引器という機械で吸引する必要があります。無料で吸引器を貸し出す地域が増

きつかけとなり、その後相談委員の下平さんのお骨折りもあり、代田正さんと目出度くゴールインされました。初夏六月の結婚式、新緑の山々、近くに目を遮る物の無い豊かな自然環境。これからの田舎暮らしに、希望と期待を多く抱きました。由紀さんは東京世田谷生まれ、勿論非農家です。回りの方々から、方言まじりで励ましの言葉がよせられ、暖かさや、優しさを伝えることで、今以上の福祉の充実につながると思います。日本は高齢化社会を迎えていますが、子供から高齢者まで住みやすい地域にすることを私たちも考えていかなければならぬと思います。季節ごとの景色と美味しい山の幸や果物を楽しみながら、これからもこの地域で暮らしていきたいです。



田舎暮らしにアコがれて (由紀さんと子供たち)

が伝わり、とても幸せに思う今日であると思



られました。又、百花ちゃんのクラスは八名と少人数。「上級生との融和も図られ、先生の目も行き届き、良い面は多くあるが、学校行事は寂しく思います。私自身一定規模校の出身、中学校入学の先を思う時、不安を感じています。南北小の人数バランスについて一考してしまおう。」と話されました。村政の一役を担う一人として、重く受け止めたいです。

編集後記

七月に入り、なが雨やもしやの台風も心配していたが、上・中旬、梅雨明け前というのに、連日30度を越える暑さは何なのか。夏本番を迎える前に熱中症とは先が思いやられる。地球環境はまさに温暖化。砂漠化もすでに進んでいる。

暑けりゃあ 暑い暑いと 油焚き 正創

全世界一体となり取り組むべき問題も、先進主要国はもとより、各国の思わくでなかなか進展を見ない。このままでは、明日を待てないのに。▼村でも今、環境保全条例を制定しようとしている。しかし、条例の内容やその練り上げに、庁内あげて充分時間をかけ、検討を重ねてほしかった。「継続審議」は、議会としてものだけでは無い。村に対し、再検討を強く求め、再検討をしっかりと受け止めてほしい。条例を効きめあるものとするために。▼今定例会閉会の議長あいさつの中に「職員の緊張感の欠如」を指摘され、注意を求められる一言があったが、議員からもここ一年位の間に、同様の指摘が多く聞かれる。理事者以下職員の皆さん全員が、村民のため常に緊張感を持つて、職務にあたつてほしいものだ。